

平成27年度 電源立地地域対策交付金

(水力発電施設周辺地域交付金・電力移出県等交付金相当分)

評価報告書

別紙

I. 事業評価総括表

(単位：円)

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に 要した経費	交付金充当額	備考
1	公共用施設に係る整備、維持補 修又は維持運営等措置	中学校維持管理事業	夕張市	8,229,453	5,387,000	

II 事業評価個表

番号	措置名	交付金事業の名称	
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	中学校維持管理事業	
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		夕張市	
交付金事業実施場所	北海道夕張市南清水沢3丁目（夕張市立夕張中学校）		
交付金事業の概要	積雪寒冷地の夕張市において、市内中学校生徒が健全に学習できる環境整備を行うため、暖房用燃料の購入等を行う。		
総事業費	8,229,453 円	交付金充当額	5,387,000 円
		うち文部科学省分 うち経済産業省分	5,387,000 円
交付金事業の成果及び評価	冬期の暖房用燃料を確保し、生徒の学習環境を整備し学習効果を高めるという本事業の目的について、当該交付金の活用により暖房用燃料（A重油11,900リットル）の購入ほか、光熱水費支払いが可能となり、生徒が安心して学習することができることとなった。		
交付金事業の実施に伴い締結された売買、貸借、請負その他の契約			
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方
	燃料の単価契約（A重油）	（4～9月）随意契約（10～3月）指名競争入札	夕張エネックス協同組合
	電気料	随意契約	北海道電力（栗山営業所）
	水道料	随意契約	夕張市
			契約金額
			786,996 円
			6,374,566 円
			1,067,891 円
成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無 なし			
本事業に来年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方 積雪寒冷地の夕張市において、継続して暖房費用等の確保が必要となることから、次年度も継続して本交付金の活用を行いたい。			
交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度			

- (備考)
- (1) 事業ごとに作成すること。
 - (2) 番号の欄には、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。
 - (3) 交付金事業の成果及び評価の欄には、進捗度、利用量並びに効果等を出来る限り数位を用いて記載すること。
 - (4) 契約の方法の欄には、一般競争入札、指名競争入札、随意契約の別を記載すること。
 - (5) 成果及び評価に係る第三者機関を活用の有無の欄については、第三者機関を活用した場合にあっては、第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。
 - (6) 本事業に来年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方の欄については、来年度以降の本事業の事業の見直し等について記載すること。